

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和十一年九月十二日

書記官長

議長宛

昭和十一年九月十二日立案

書記官長



主筆

書記官



書記官



臺灣總督府官制中改正ノ件外一件

審査報告

謹テ今日御諮詢ノ臺灣總督府官制中改正ノ件

及臺灣總督府地方官官制中改正ノ件ヲ審査ス

又

ルニ其ノ要旨左ノ如シ

第一 臺灣總督府官制中改正ノ件

本件ハ

近時管内ノ鑛業者シク増進シ其ノ事務繁

臺灣總督府ニ於テハ殖産局鑛務課長ト從來

山林課長トシテ兼務セシメタルモ近時管内

鑛業ノ發達ニ伴ヒ事務著セリ多忙ト爲リ

トキ由ニ專任ノ課長ヲ置ク爲メ事務官一人

トキ由ニ專任ノ課長ヲ置ク爲メ事務官一人

トキ由ニ專任ノ課長ヲ置ク爲メ事務官一人

及メ其ノ課員ニ充ツル爲メ技手一人米穀自治

トキ由ニ專任ノ課長ヲ置ク爲メ事務官一人

管理法ノ施行ニ由リ米穀統制ニ關スル事務

ノ爲メ新ニ殖産局ニ米穀課トシテ課ヲ設ケ

ントスルニ付其ノ課長ニ充ツベキ事務官一

人課員タルベキ技師一人屬二人及技手三人

本館律令ヲ以テ制定セラルル臺灣都市計

九律令ニ依ル

畫令ニ依ル都市計畫ニ關スル事務ヲ處理セ

ルムル爲メ事務官一人技師一人屬二人及技

手二人國有林野ニ於テ經營ニ屬スル森林施業案

之實施ナル爲メ技師二人屬一人及技手十三

人犯罪ノ搜查ニ必要ナル鑑識施設ヲ充實ス

ル爲メ技師屬及技手各一人今回制定ル臺灣

拓殖會社法ニ依リ新設セラルルル臺灣拓殖

株式會社ノ業務ノ監督ニ關スル事務ノ爲メ

秘  
密  
院

屬二人阿片及麻藥ノ取締ヲ一層勵行スル爲

(以上合計事務官三人、技師五人、屬九人、技手三人)

メ屬及技手各一人新ニ新竹ニ地震觀測所ヲ

(セントロ付之配置スベキ)

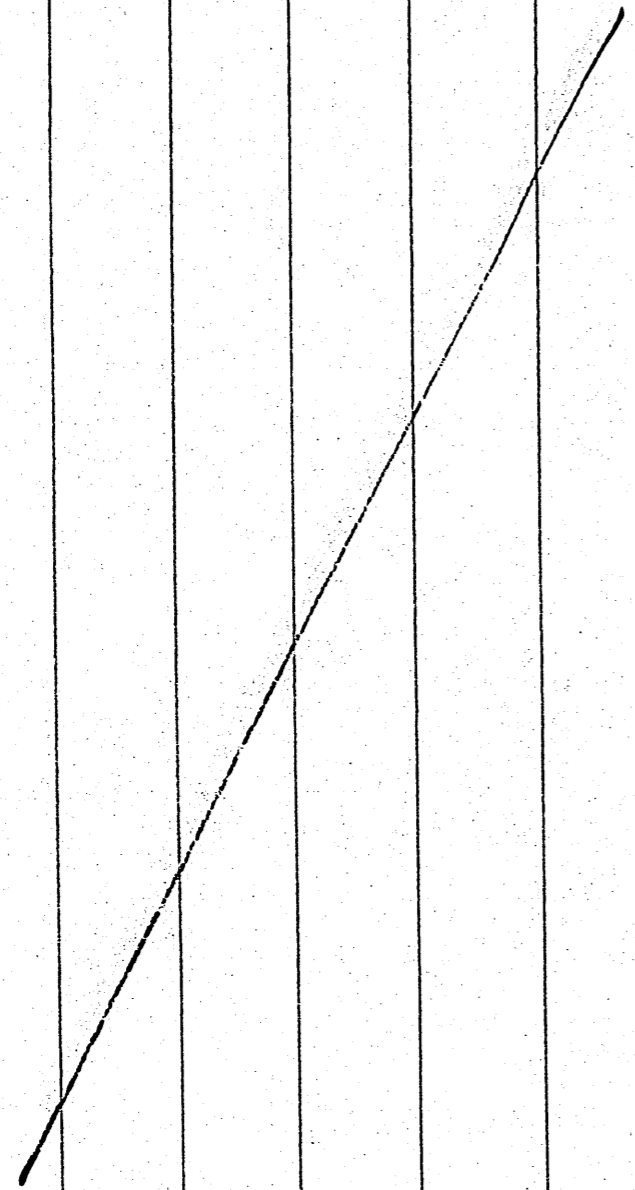
設置スル爲メ測候所技師一人及同技手二人

ト事務官合計三人、技師五人、屬九人、技手三人

ヲ増員セントス(九條十)即チ以上増員、内各官

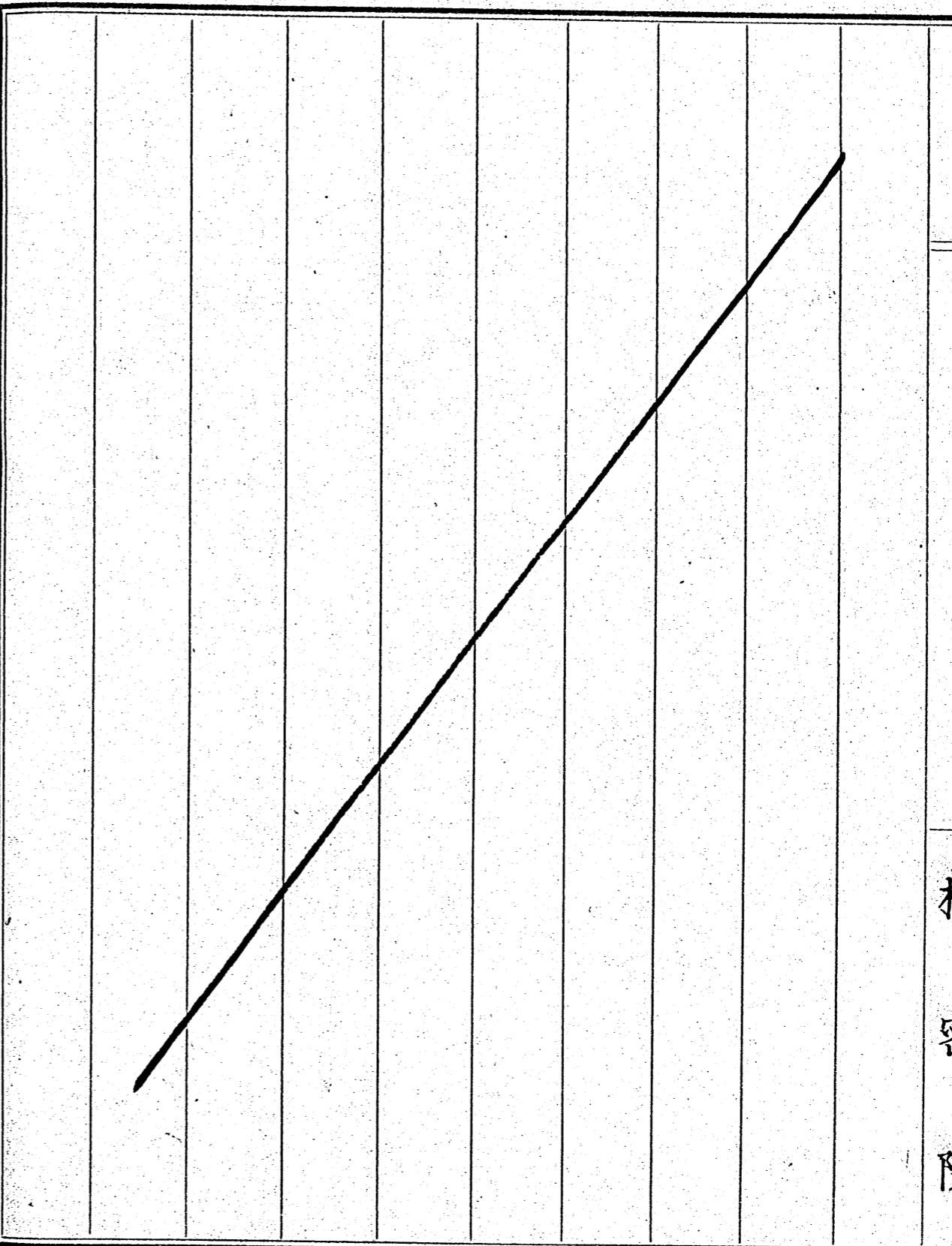
制別 合計事務官三人、技師五人、屬九人及技

手二十一人



秘  
密  
院

林  
密  
附



第二 臺灣總督府地方官官制中改正ノ件

本件ハ

臺灣總督府地方官官制中改正ノ件

前記ノ如ク米穀自治管理法施行ノ件

ニ伴フ米穀

中 統制ノ

付米用ノ事務ノ推考廿四年ノ為メ各州

ニ配置スベキ屬及技手各五人、自動車取締ノ

為メ新ニ臺中及高雄ノ兩州ニ配置スベキ技

區  
密  
附

檳榔嶼

手二人、前述ノ森林施業案實施ノ為メ臺中州

以上合計州廳屬五人、日技手八人

ニ配置スベキ技手一人、新ニ高雄港ニ於テ移

移

輸入獸類ノ檢疫ヲ實施スル為メ、高雄州

港

務部ニ配置スベキ港務獸醫一人ヲ増員シ（ニ才

條及第四十八條）従来街社長ニシテ奉任官ノ待遇ト

為シ得ルモノ、（一）限度トシ、（二）限キタルモ

近時、（一）地方ノ情勢ニ鑑ミ、（二）街社長

其ノ優遇ノ途ヲ擴グルノ必要アルニ由リ、（一）本業

限度ノ定數ヲ

ノ以テ、（一）奉任官待遇ト為シ得ルモノノ數

ヲ十人増加セリトス（第四十條）

檳榔嶼

機密院

ニ於テハ職員ノ

以上二件ヲ通シ増員ニ要スル經費ハ本

歳出

ノ年度豫算中ニ計上セラレタリ

按ズルニ右二件ハ臺灣總督府部内ニ於テ右般

事務ノ増進ニ應ジ必要ナル職員ノ定数ヲ増加

且 街庄長

オレトシテ併セテ其ノ特殊ノ職員ノ待遇

フル為現行ノ本府官制及地方官官制中ニ改正ヲ施シ

ニ改善ヲ加ヘントスルモノニシテ別ニ支障ノ

此ノ儘

廉ナレト認ムルニ由リ其ノ之ヲ可決セラレ然

ルベシト思科ス

右謹ガ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和十一年九月十二日

區 密 院

書記官長

議長宛

昭和十一年九月十二日立案

書記官長 

主筆

書記官

書記官



関東局官制中改正ノ件審査報告

謹テ今向御諮詢ノ関東局官制中改正ノ件ヲ審  
査スルニ本件ハ関東局ニ於テ軌迹度量衡取締